

# 寒さで震える仕組み解明

人などの恒温動物は、寒くなると体を温めるため、筋肉が震えて熱を生み出す。この震えを起す脳からの指令の経路を、京都大生命科学系キャリアパス形成ユニットの中村和弘助教（神経科学）のグループが解明した。震えを調節する治療薬の開発につながる成果という。

## 低体温症治療応用も

中村助教は、体の中で熱を生み出す別の組織「褐色脂肪組織」に注目した。肩、震えも止まり、それぞ付近など上半身にある組織で、糖や脂肪などをエネルギー源に、熱を作っている。

### 京大グループ発表

脳から褐色脂肪組織に指令を伝える経路を調べると、体温調節をつかさどっている脳の奥の「視索前野」から、延髄を経由して脊髄に伸びる神経が指令を伝えていた。この経路の途中にある神

## 微小空間で化学反応制御

# 実用化へ産学連携

京大など 新産業を創出へ

京都大工学研究科 微小空間で化学反応を精密に制御する「マイクロリアクター」の実用化、事業化をめざす産学連携組織「京都大工学マイクロ化学生産研究コンソーシアム」をこのほど設立した。廃棄物を減らし、省エネルギーを実現する



白血病患者の支援に  
取り組む  
NPO法人「全国  
骨髓バンク」  
代表理事  
市川団十郎さん

## 市川団十郎さん会長に

協同連絡バンク骨髓全国  
市川さんが3代目の会長に就任すると発表し、5日の通常総会で承認され、正式決定する。任期は2年。市川さんは2004年に、同協議会のイベントが開かれる岐阜県大

## 移植経験いかす

血病を発病し、造血細胞移植を受けた。08年には治療治療による貧血を改善するため、妹で日本舞踊家の市川紅梅さんから骨髓を移植した。現在は回復し、公演活動を続けている。

リニア早期開業  
求め期成会決議  
リニア中央新幹線のルートが通る9都府県などで構成する建設促進期成同盟会の総会が

31日、東京都内で開かれ、東京―大阪間の早期全線開業に向け、環境影響評価など着工までの手続きを着実に進めることなどを、建設主体のJ.R東海や

国に求める決議をした。決議はほかに、大幅なコストダウンなどにより全線同時開業ができないか検討するよう要望した。

国際協力の現場  
ツア―の魅力知って  
4日、下京で説明会  
アジアやアフリカをはじめ世界各地の国際協力活動の現場を訪れ、体験学習や現地住

民との交流を通じて国際理解を深める「スタディーツアー」の説明会が4日午後1時半から、京都市下京区のキヤンパスプラザ京都で開かれる。学生のほか、

一般の参加も歓迎する。龍谷大ボランティア・NPO活動センターと関西NGO協議会などの主催。第1部は説明会「スタディーツアーとは何か」で、ツアーができる。同センターに参加した龍谷大の学生らが体験談や魅力を語る。第2部は相談会でツアーを運営する16団体がブースを開設し自由に話を聞くこと

が31日、分かった。エンジンのオイル漏れが原因で、同社は3日、トラック「ファイター」、バス「エアロ」の計3車種5451台の計3車種5451台（1998年8月～2004年12月生産）のバス11台が走行中に火災を起こしていたことが届け出た。

5) 2047。

美河橋(30日午後4時)